

(様式1-2)新規評価シート

事業名		街路事業		路河川名等	(都)若宮線 <(主)長野上田線>							
事業毎の通番		1	市町村名	千曲市	箇所名(ふりがな)	若宮(わかみや)						
事業概要	事業目的	当路線は、主要幹線街路である(都)上田篠ノ井線(国)18号バイパスと戸倉地区及び上山田地区を結ぶ幹線街路であるとともに、現道は震災時の救命活動や物資輸送を担う緊急輸送路(第二次)の指定路線となっている。また、長野道姨捨スマートICと県内有数の観光地である戸倉上山田温泉とを結ぶ観光支援の道路でもある。当区間は第一種住居地域内を通過しているが、現道は狭隘で歩道も未整備のため、通過車両と歩行者等の接触事故が発生するなど、交通安全上大変危険な状況となっている。本計画は、街路整備により、円滑な都市内交通の確保を図るとともに、安全で安心な住環境を形成するものである。										
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8 生活を支える地域交通の確保(生活の基盤となる道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	都市計画法							
	関連する事業、計画等	しあわせ信州創造プラン2.0、千曲市都市計画マスタープラン										
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	受益対象(不特定多数):計画交通量 5,300台/日										
	着手年度	2020年度(令和2年)	事業期間	8年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)						
完成年度(見込み)	2027年度(令和9年)	費用対効果	1.1	国庫	715,000	その他	130,000	県債	409,500	一般財源	45,500	
全体事業内容(主な工種)	道路改築工 L=800.0m、W=6.0(16.0)m			1,300,000	715,000	130,000	409,500	45,500				
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	道路新設に伴う都市内交通の円滑化 歩道整備による歩行者の安全確保										
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進 観光地(戸倉上山田温泉)へのアクセス機能向上及び集客増										
評価の視点	必要性	○計画自動車交通量 : 5,300台/日 ○交通結節点アクセス : 戸倉駅へのアクセス道路(2.0km)、姨捨スマートICへのアクセス道路(5.5km) ○地域の特性 : 戸倉上山田温泉へのアクセス道路								評価	B	
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : しあわせ信州創造プラン2.0、千曲市都市計画マスタープラン ○緊急輸送路の路線指定 : 第二次緊急輸送路に路線指定								評価	B	
	効率性	○費用対効果(B/C) : 1.10 ○事業期間 : 8年間 ○工法等の比較検討 : 土留構造物等の工法比較検討実施								評価	B	
	緊急性	○近年の交通事故件数 : H28~H30の3年間に6件発生 ○渋滞対策・混雑度 : 混雑度:1.19(H27センサス) ○通学路対策 : H27合同点検の要対策箇所 ○現況の歩道幅員 : 現道歩道なし								評価	A	
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者を中心に周知(H27.8役員説明を実施) ○地域の取り組み : 地域づくり懇談会で市から強い要望有り ○地域の合意形成 : 合意形成が図られている(H29.6地元説明会実施、H30.4地元説明会実施) ○住民との協働 : 若宮区で道路アダプトシステムにより同一路線の維持管理活動中 ○PDCA 事後・再評価からのフィードバック:6-4(植樹帯の活用)								評価	A	
建設部公共事業評価委員会の意見	当路線は、戸倉上山田温泉へのアクセス道路として千曲市街地の形成を支援する重要な街路であり、円滑な交通の確保から早期の整備が必要である。また、現道は歩道が未整備であることから緊急性が高い。このため、事業着手が妥当と判断する。								採択状況	総合評価	○	A
長野県公共事業評価委員会の意見	建設部公共事業評価委員会の意見が妥当であると判断する。											
県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	妥当	評価の決定	事業着手							

### 位置図

### 標準横断面図

### 現道状況

歩道がなく、幅員が狭小であるため、事故の発生件数が多い。

### 平面図

**事業概要説明図表**

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は、長野市と上田市を結ぶ主要な幹線街路であるとともに、震災時の救命活動や物資輸送を担う緊急輸送路(第二次)の指定路線となっている。また、長野道姨捨スマートICと県内有数の観光地である戸倉上山田温泉とを結ぶ観光支援の道路である。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	近隣に更級小学校、戸倉上山田中学校があり、当該区間は通学路にも指定されていることから、歩行者の安全確保が求められている。このため、毎年、千曲市地域づくり懇談会で地元要望があり、千曲市の中でも要望順位が高い。
③事業説明等の経緯	H27.8地元3区役員説明会実施 H29.5役員説明実施 H29.6地元説明会実施 H30.4地元説明会実施
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	・しあわせ信州創造プラン2.0 ・千曲市都市計画マスタープラン ・(国)18号坂城更埴バイパス整備 ・道路事業(L=400m)(H30~)
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	周辺のまちづくり活動や事業と連携し、植樹帯による緑化が計画されている。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、付近の観光施設等へのアクセス性の向上による地域の観光産業への支援効果が期待される。
⑦その他	土留構造物の比較検討を行い、コスト削減を図っている。

**事業周辺環境**

事後・再評価からのフィードバック	植樹帯の設置に際しては、地元の方のご意見を伺いながら樹種等を選定していきたい。	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 29' 25" 70 東経:E 138° 08' 15" 10
------------------	---	-------------	---